



# 本庄市議会だより

## おもな内容

	ページ
○第1回定例会の概要、おもな案件①	2
○提出議案とその結果	3～4
○委員会のうごき	4～6
○市政に対する一般質問	7～13
○おもな案件②、議員提出議案	13～15
○表紙写真の募集、6月定例会の予定等	16

## 写真タイトル

「私の好きな景色  
(八高線児玉駅ホームと群馬の山々)」

撮影者：ペンネーム「sana」さん  
撮影場所：児玉駅跨線橋

今年度は表紙写真の公募を行っています。  
詳しくは裏面及びホームページをご覧ください。



令和7年第1回定例会（3月定例会）を、2月25日（火）から3月25日（火）までの29日間の会期で開催しました。

今定例会には、市長から条例制定・廃止・一部改正、令和7年度当初予算、令和6年度補正予算など39議案が提出されました。さらに最終日には、市長から令和7年度補正予算2議案の提出がありました。また、議員からは条例の一部改正、意見書の3議案の提出がありました。

慎重審議の結果、市長提出の41議案及び議員提出の2議案については原案のとおり可決、承認、同意し、議員提出の1議案については、否決しました。

おもな案件①

◆本庄市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
児童福祉法の一部改正に伴い、乳児等通園支援事業が制度化されたため、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定めるための条例制定です。



◆本庄市高齢者住宅整備資金融資条例を廃止する条例
本庄市高齢者住宅整備資金融資制度を廃止するための条例の廃止です。

◆本庄市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例
地方公共団体情報システムの標準化に伴い、住登外者の情報の管理に関する事務について、個人番号を利用等するための条例改正です。

3月定例会のうき

- 2月25日 本会議
◆会議録署名議員の指名
◆会期の決定、諸報告
◆市長提出議案の上程
◆市長施政方針及び施策概要並びに市長提出議案の提案理由の説明
◆市長提出の議案内容の説明
2月27日 本会議
◆請願の常任委員会付託
◆議案に対する質疑・一部議案の即決
◆議案の常任委員会付託
3月3日・4日 常任委員会
◆総務常任委員会
◆厚生文教常任委員会
3月5日・6日 常任委員会
◆建設産業常任委員会
3月10日 特別委員会
◆17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会
3月11日 特別委員会
◆交通政策及び観光政策特別委員会
3月17日・18日・19日 本会議
◆一般質問
3月25日 本会議
◆請願の常任委員長報告採決
◆各特別委員長報告採決
◆各常任委員長報告採決
◆市長提出追加議案の上程採決
◆議員提出議案の上程採決
◆閉会中の継続審査

提出議案とその結果

令和7年第1回定例会

(賛成：○ 反対：× 棄権：棄 欠席：欠)

Table with columns for proposal number, name, and voting results for 21 council members. Includes a vertical note on the left: '市長提出議案' and a vertical note on the right: '議長は可否同数の場合のみ裁決します。'.

## 令和7年第1回定例会 提出議案とその結果(つづき)

(賛成：○ 反対：× 棄権：棄 欠席：欠)

議案番号	件名	議席番号	議決結果																				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
第31号議案	令和6年度本市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) [P14]	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第32号議案	令和6年度本市下水道事業会計補正予算(第4号) ・事業費の確定見込み等により収益的支出の補正などするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第33号議案	令和6年度本市下水道事業会計補正予算(第5号) ・事業費の確定見込み等により資本的支出の補正などするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第34号議案	令和7年度本市一般会計予算 [P14・P15]	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第35号議案	令和7年度本市国民健康保険特別会計予算 【予算額：79億8942万1000円】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第36号議案	令和7年度本市介護保険特別会計予算 【予算額：67億9149万5000円】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第37号議案	令和7年度本市後期高齢者医療特別会計予算 【予算額：12億571万円】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第38号議案	令和7年度本市下水道事業会計予算 【収益的収入予定額：21億7848万7000円、収益的支出予定額：18億8583万円、資本的収入予定額：8億138万7000円、資本的支出予定額：17億8288万6000円】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第39号議案	令和7年度本市下水道事業会計予算 【収益的収入予定額：21億7260万1000円、収益的支出予定額：21億4429万3000円、資本的収入予定額：11億579万1000円、資本的支出予定額：15億2873万円】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第40号追加議案	令和7年度本市一般会計補正予算(第1号) [P15]	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第41号追加議案	令和7年度本市下水道事業会計補正予算(第1号) ・水道基本料金の免除に係るシステム改修経費等の追加など収益的収入及び支出の補正などするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案 議第1号議案	本市議会議員定数条例の一部を改正する条例 ・本市議会の議員定数を「21名」から「19名」にするための改正	議長裁決により原案否決	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
議員提出議案 議第2号議案	本市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例 [P15]	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案 議第3号議案	安全・安心の医療・介護の実現のため人員増と処遇改善を求める意見書 [P15]	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

## 総務常任委員会

委員長 道雄  
副委員長 英亮  
委員 規子  
委員 静志  
委員 清一  
委員 高伸  
委員 野間  
委員 清水  
委員 矢野  
委員 巴  
委員 早野

3月3日・4日の2日間にわたり、委員会を開催し、付託議案13件を慎重審査しました。主な内容及び質疑は次のとおりです。

### ○令和7年度一般会計予算

**問** 住民情報システム化事業のスマート窓口ですが、受付票等を書かなくならないことかと思いますが、アスピアこだまでも同じ窓口のシステムができるのか、また、いつからスマート窓口が始まるのかをお聞きします。

**答** スマート窓口システムの書かない運用については、現在の予定では、アスピアこだまの児玉総合支所でも、本庁舎と同じような形を想定しています。令和8年1月からテスト導入を行い、令和8年5月頃から本格稼働を考えています。

**問** 防犯推進事業の防犯カメラネットワークシステム構築業務委託料について、20台の公共施設のカメラをネットワークでつなぐということですが、その目的をお伺いします。

**答** 防犯推進事業の防犯カメラネットワークシステム構築業務委託ですが、20台のカメラをネットワークで結んで、

それを一元管理するものです。目的としては、現在防犯カメラは、例えば警察からの要請があった場合、設置されている現場に行つて、カメラに入っているSDカードを確認しないと、その動画が録画されているかどうか分からない状況です。ですので、それをネットワーク化して、執務室で確認できるようにするというものです。警察の捜査が迅速に行えるようになること、ひいては市民の安全・安心に寄与できるものと考えています。

〈予算計上された事業の一部〉  
防災ガイドブック作成事業  
31372千円



平成31年3月作成の防災ガイドブック

## 厚生文教常任委員会

委員長 雅寿  
副委員長 弘志  
委員 裕之  
委員 益一郎  
委員 平光  
委員 田中  
委員 林平  
委員 谷田  
委員 倉林  
委員 梶沼  
委員 小楠

3月3日・4日の2日間にわたり、委員会を開催し、付託議案17件を慎重審査致しました。主な質疑の内容は次のとおりです。

### ○第13号議案 本市敬老祝金給付条例の一部を改正する条例について

**問** 本市として、なぜ、このタイミングで改正するのか教えてください。

**答** 本年は、超高齢社会到来の該当年で、高齢者人口は今後ますます増加していくことが想定されています。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、高齢者福祉事業を見直し、整理を行い、今後を見据えた事業を展開していく必要があるためです。※なお、次の附帯決議を全会一致で賛成しました。

今般の改正において、給付年齢の基準を暦年から年度単位へと見直すのであれば、令和7年度の敬老祝金の給付に限り、同じ年度において満77歳、満99歳、及び満101歳以上となる者についても、現行と同様の扱いとすることを求めます。

**問** 小学生学習支援事業の学ぼう舎の事業内容や参加者等詳しい説明をお願いします。

**答** 学ぼう舎は、月2回、土曜日の午前中実施し、令和6年度については92名の児童が登録しています。事業内容は、各会場で工夫を凝らし、様々な体験活動を行っています。例えば、福祉体験などの社会活動体験、落語や琴演奏などの文化芸術鑑賞、着衣泳教室や少林拳法などのスポーツ体験、工作などのものづくり体験、こういったものを行っています。



ストロベリーマーケット



本庄駅北口ロータリー

## 建設産業常任委員会

委員長 康博  
副委員長 伊代子  
委員 健司  
委員 豊子  
委員 綾和  
委員 美富  
委員 山田  
委員 堀口  
委員 小賀  
委員 山口  
委員 柿沼  
委員 高橋

3月5日・6日の2日間にわたり、委員会を開催し、付託議案9件を慎重審査致しました。主な質疑の内容は次のとおりです。

### ○令和7年度一般会計予算

**問** 元気な農業推進事業のストロベリーマーケット駐車場等警備業務委託は、駐車場の警備を必要とするというのは、どういうものを考えているのですか。

**答** ストロベリーマーケットですが、本庄産あまりんの認知度をさらに向上させたいという目的で令和7年度はさらに拡充して実施したいと考えています。本年度も多数の来場者がありましたが、さらに来場者が来るのが想定されますので最も事故が起きやすい駐車場内を専門の業者に委託して来場者の安全の確保をしたいと考えています。

**問** 樹木管理等業務委託料にクビアカツヤカミキリの殺虫剤の費用が含まれているということですが、今千本桜はどれだけ被害を受けているのですか。

**答** 千本桜のクビアカツヤカミキリの被害状況ですが、昨年の69本に比べ、今年の2月28日現在で、278本という状況です。

**問** 本庄駅北口駅前リノベーション事業について、駅前ロータリーを市としてどのように進めていくのですか。

**答** バリアフリーの問題など駅前ロータリーの課題を解決するため、どのような形状がよいか、再検討します。併せてネットワークする道路の計画を踏まえ、関係する地権者の方とも協議が必要となるため、それらを踏まえ、整備手法も今回の業務で考えていきたいと思います。

### ○令和7年度一般会計予算



# ここがポイント!そこが聞きたい!!



ほろろ

## 一般質問

一般質問とは、市の行政事務の状況や将来の方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、定例会ごとに行われます。今定例会では、16名の議員が質問を行いましたので主なものの要旨を掲載いたします。なお、本文中の「見出し」及び「問」は、質問者自身が責任をもって作成したものです。詳しい内容は、会議録（5月下旬発行予定）をご覧ください。会議録は議会事務局、児玉総合支所、本庄ガスECOはにぼんプラザ、図書館、公民館及び市議会ホームページで閲覧することができます。  
<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/honjo/pg/index.html>



**効率的・効果的な計画行政について**  
 市議団大地代表 高橋 和美

**問** 現在、市には総合振興計画を始めとして法令等により義務付けられているものや努力義務としていえるもの、「できる」規定としていえるものなど、それぞれの計画が策定されているか把握できません。計画策定の職員の労力やコンサルタントへの財政的負担など、必要性の低い計画の廃止、計画の簡素化、重複する計画の統合など全庁的な方針として検証すべきであると思いますがいかがですか。

**答** 行政計画については、議員にご提案をいただいた廃止、統合、簡素化による見直しのほか、アンケート調査結果の共有や印刷製本の廃止など効率的・効果的に策定するための手法についても見直しを進めています。また、策定に当たっては必ずしもコンサルティング業務の委託をせず、職員自ら策定業務を行うことができないうかが、また他の安価で効率的な方法で策定



市の計画の一部

【その他の質問】  
 ・ゼロカーボンシティの推進について

することができないかなど、行政改革につながる事項として、しっかりと検討し、委託料の削減にも努めていきます。行政計画に関する国の動向としては、地方公共団体の負担が増加しているとして、計画以外の形式による意思決定表現や関連する既存の計画等との統合についても検討するよう内閣府より各省庁に求めると認識しています。行政計画等のあり方については、今後とも国の動向を注視するとともに、適宜必要性等を精査した上、廃止、統合、簡素化などによる合理化を図り、より分かりやすい内容としていくよう努めていきます。（企画課）

**本庄駅市営駐輪場無料化について**  
 自由民主党 広瀬 伸一 本庄代表

**問** 市営駐輪場は電車通勤、通学する住民にとって重要な施設です。現在、この駐輪場は黒字経営となっており、その分利用している本庄市民に無料開放すべきです。まずは市民向けの割引制度を設け、市民割引、学生割引、家族割引など多角的に検討し市民に負担のないよう無料にしていくことが必要だと思いますが、見解をお聞きかせください。

**答** 市の公の施設としての駐輪場にかかる使用料については、利用者が限定される施設のため、受益者負担の原則から利用者に応分の負担をして頂く必要があるものと考えています。また、駅周辺の民間駐輪場の業務を圧迫しないという配慮も使用料設定に対して必要な要素です。一方で、近隣市町の状況を勘案してみますと、熊谷市では、学生割引制度などを



【その他の質問】  
 ・市と交通政策及び観光政策特別委員会との連携について  
 ・第3回上武連携構想勉強会の成果と課題について

導入したり、籠原駅前の市営駐輪場は無料としています。また、深谷市は、深谷駅の周辺は市営の駐輪場のみで、全て無料となっています。仮に本庄駐輪場で学生料金を無料とした場合、令和5年度試算では、約1,868万円の収入減となります。いずれにしても本庄駐輪場の無料化や各種の割引については、課題も多い状況ですので、民間駐輪場の事業者と意見交換を行うなど、課題の整理を行い、実施の可能性について検討していきます。（都市計画課）

## 17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会

- 委員長 富司 規之  
 委員 長 裕弘  
 副委員長 野間 健司  
 委員 田 賀野 英高  
 委員 谷 栗 小内 巴 堀口 伊代 小 林 猛

本特別委員会は、国道17号本庄道路や地域の骨格を形成する広域的な幹線道路の整備促進のための活動を行います。令和6年6月には、国道17号本庄道路の整備を担っている国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所を訪問し、国道17号本庄道路の進捗状況について確認し、一日も早い全線開通をお願いしました。また、9月には、国土交通省及び財務省を訪問し、要望書を手渡し、国道17号本庄道路の早期整備のための予算付けなどをお願いしました。



国土交通省での要望活動

令和7年3月には、埼玉県が進めている西関東連絡道路の整備事業の一つである大滝トンネルを視察し、広く北関東と甲信・東海地方の人や物の交流を促進し地域の活性化を目指す幹線道路の調査を行いました。引き続き、国道17号本庄道路や幹線道路の整備促進のため、関係機関への要望活動や調査・研究等を実施していきます。



大滝トンネル現場視察

12月には、埼玉県国土整備部を訪問し、国道17号関連事業や県道花園本庄線バイパスなどの幹線道路について、事業のお礼や今後の更なる整備推進についてお願いをしました。

## 交通政策及び観光政策特別委員会

- 委員長 伸一 静子  
 委員 長 益康  
 副委員長 清水 道雅  
 委員 林 田 倉 山 門 富 柿 高 早 野 田 倉 田 沼 沼 橋 高 早 野

本特別委員会は、本庄駅、児玉駅、本庄早稲田駅の3駅を中心に、安全で快適な通勤・通学環境の創出や、子育て世代を含む定住者の増加を図り、にぎわいのある地域社会の実現に取り組むため、長期的な視点でJR東日本に対して要望活動などを実施すること、及び本庄市の観光拡大についても取り組んでいく委員会です。



JR東日本 本社への要望活動

令和6年9月にJR東日本高崎支社へ、12月にはJR東日本本社へ、JR高崎線の籠原駅発着の列車を高崎駅発着へ変更すること、新車両センターの整備、15両編成列車を籠原駅以北へ延伸すること、JR八高線の沿線地域の



上信電鉄サイクルトレインの現状調査

令和7年3月11日に開催した委員会では、サイクルトレインの現状調査を行いました。上信電鉄本社でサイクルトレインの運行状況についてお話を伺った後、実際に高崎駅―上州富岡駅の区間に自転車を持ち込み乗車することで駅やホーム、車内の様子などを確認しました。今後も引き続き、鉄道の利便性向上についてJRへ要望するほか、調査研究を進めていきます。

認知症施策の推進について

公明党代表 清水 静子

【問】 令和5年6月、認知症基本法が成立し、令和6年1月に施行された。共生社会の実現を加速させたい。認知症を自分事と理解する「新しい認知症観」の理解促進について伺う。また、認知症本人や家族の不安からくる言動で家族関係が壊れることも少なくない。「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つで理解を促すケア技法「ユマニチュード」の普及に取り組むべきと考えるがどうか。

【答】 認知症を自分事として理解し、認知症とともに自分らしい暮らしを続けるために市や市民、関係者等と連携・協働して、理解を促進する必要があります。本市では、認知症があっても笑顔で暮らせるまちを目指し、認知症サポーター養成講座の開催やチームオレンジほんじょうの活動、認知症イベントの開催など様々な取組を実施しています。このような機

会を通して、関係者とともに新しい認知症観の普及啓発に努めていきます。

また、介護者とケアを受ける人が良い関係を築くことは、介護負担軽減につながる。と考えられるため、介護する家族にユマニチュードの情報発信をするとともに、より良いケアを実現できるよう、ユマニチュードの考え方も参考にしながら、地域のケア向上に努めます。

新しい認知症観を広く普及啓発し、一人一人が役割や社会との繋がりを持ち続け、笑顔で暮らし続けることのできる本庄市を目指し、共生社会実現のための取り組みを進めていきます。

【その他の質問】 (高齢者福祉課) 本市の交通施策について



本市の定例監査の取組について

市議員未来代表 小賀野 健司

【問】 定例監査は、本庄市監査実施計画に基づき実施されています。市長は、監査委員からの指摘事項に対して、①市職員への周知徹底②改善への取組③担当部署からの回答④回答に対する適否⑤監査委員宛の改善方法の回答状況等について、お伺い致します。また、今後の定例監査は、業務監査、会計監査やシステム監査等新たな監査手法等を導入する考えがあるか、お伺い致します。

【答】 監査の過程において把握した法令等に従って事務処理がなされていないもの等については是正を求めるため、監査委員からは該当部署及び所管部長への通知が行われています。また、庁内システムに監査委員事務局が定例監査報告書を掲載することにより、全職員への周知を図っています。通知を受けた場合は、各所属内において情報共有を図り、再発防止に向

けた事務処理の見直しについて、所管部長とも協議し、改善を図るよう取り組んでいます。市長は適宜部長より報告を受け状況を把握するとともに、対応方針の報告を求め、その内容に応じて適宜指示をしています。通知があった部署は、改善結果又は改善案の報告を求められていますので、所管部長の決裁を経て、監査委員宛に回答を行っています。

新たな監査項目や手法の導入、実施については、監査委員は長と対等の立場で監査を実施する独立機関であることから、監査委員において調査研究していただくべき内容と認識をしています。

【その他の質問】 (監査委員事務局) 本市の入札参加者への労働条件審査の導入について



定例監査報告書

本庁舎東側新規取得地の有効活用について

市議員きせき代表 山田 康博

【問】 用地取得の目的として駐車場の拡張整備・南側への出入り口確保という事ですが、隣接する城山稲荷神社、城下公園、八坂神社、元小山川遊歩道とロケーションの優位性を活かしての1帯整備、本市の歴史を語る上で大切な場所として、市民サービスの向上と利便性を兼ね備えた自然あふれる調和のとれた開発の必要性があると考えます。市の見解を伺う。

【答】 本庁舎東側に隣接する土地の取得目的は、本庁舎の敷地を拡張し、駐車場の拡充と南側道路からの取付道路を確保することです。議員ご指摘のとおり隣接する城山稲荷神社や城下公園等との調和も重要であると考えていますが、民間所有の施設は、市が直接的に整備や現状変更を行うことはできないと考えます。また、市所有の城下公園も、現時点では特段の対応を行う予定はありません。



新規取得地から見た本庁舎

【その他の質問】 (資産マネジメント推進課) 様々な拠点としての道の駅構想について

が、東側用地の整備の仕方によつては、周辺施設等との一定の調和を図ることは可能であると考えています。本庁舎に隣接する周辺施設は、歴史的にも文化的にも貴重な財産であり、この地が地域の皆様に愛される大切な場所であると認識していますので、整備に関しては慎重に対応していきたいと考えています。現在の本庁舎も、本庄城跡であるこの地に市のシンボルとしてふさわしい庁舎として建築されたという経緯があり、東側用地の整備については、こうした背景も踏まえて進めていきたいと考えています。

街路灯(自治会単位商工会)の維持管理について

早野 清(自由民主党本庄)

【問】 任意に設置された街路灯が約25年前に児玉町自治会名の商工会に補助金プラス自己資金で設置されました。街路灯の設置から約25年経過し、ポール・カサ・電球が傷み修理をいたしました。設置業者が分からず、また、設置者が不明等さらに、電気料金、修理費の自己負担がかかる等問題が多く今後どのように対応してよいか、市としての指導をお願いします。

【答】 商店街街路灯の維持管理や電気料金に関する補助制度は、商店街街路灯電気料金補助金と商店街振興対策補助金の2つがあります。が、商店会が解散している場合や、個人所有の形態で維持管理しているものは対象となりません。児玉町自治会名の商工会の中には、団体として街路灯整備後に、個人で所有・管理しているケースがあり、補助の対象となっていない街路灯が



街路灯

【その他の質問】 (商工観光課ほか) 児玉町中心市街地環境整備について

あります。商店会が解散している場合などは、今後どういった形で進めていった方がよいかというところは課題として認識しています。今後は、商店街街路灯をはじめ、市内にある街灯について、将来にわたって安定的に維持管理が進められるよう、全庁的に取り組む必要があると考えており、今年度も庁内で担当する部署が集まり、事業の特性などについて意見交換や分析、検討などを進めているところです。先進的な事例、他の自治体の状況なども含め、引き続き検討していきます。

民間の活力を市政に活かす指定管理者制度

倉林 益代(市議員きせき)

【問】 指定管理者制度は、人口減少・少子高齢化の時代に未来を切り拓く「官民協働」の制度である。強い本泉愛と行政との協力信頼関係のもと成果をあげている「ふれあいの里いずみ亭」にない、民間のノウハウを活かし、住民サービスに努められるよう、行政も指導、監督、協力し、市民の皆様にも参加していただけるような工夫を凝らし、春に生まれ変わる本庄駅を創設してはいかがか。

【答】 指定管理者制度の目的は、多様化する住民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用し住民サービスの向上、経費の節減等を図ることとされています。メリットとして、民間事業者等のノウハウの活用による住民サービスの向上、施設管理の経費削減の他、地域経済の活性化や雇用の創出などが挙げられます。また、民



「本泉愛」溢れるふれあいの里いずみ亭

【その他の質問】 (資産マネジメント推進課) 観光振興について

間活力の導入により、創意工夫のある施設運営も期待することができると考えています。議員ご質問のとおり、人口減少、少子高齢化が進む中、官民協働、市民参加を促していくことは、大変重要なことと認識しています。官民協働、市民参加を展開するためには、指定管理者に任せてばかりでなく、指定管理者の自主性を重んじつつ、協力していくことが必要であると捉えています。インフォメーションセンター及び自転車等駐車場をはじめ、それぞれの公の施設の特徴等を考慮し、指定管理者と協議を進めながら検討していきたいと考えています。

市道及び私道の雨水対策と  
舗装整備について  
富田 雅寿(市議団大地)

**問** 本市はどんつき(行き止まり)の道路は私道とし、市道と認められていないため、雨水樹や雨水側溝が詰まったり壊れても市は面倒をみてくれませんか。私道でも生活道路です。市で対応できるようにしてください。

**答** また、同様の道路は舗装費用も若干の補助金のみです。補助金ではなく、行政施工で行ってくださるようになりますか。お伺いいたします。

【その他の質問】  
本市の市道認定の主な要件は、公道から公道に通じ、境界が明確であり、一般交通に支障がなく、自分の維持管理が必要とならない道路であることとしていきます。行き止まりの私道については、使用する方が限定されており、現在は市道認定を行っていません。私道の雨水対策について、宅地造成などにあわせて、雨水樹や側溝などの雨水排水設備の設置が行われてきた現状があります。



市が統廃合・校舎を壊す案を示した旭小

【その他の質問】  
ランドセル・鞆等の学用品の見直しと校則改定について

を送れるよう、教育環境を確保する必要があります。現時点では難しいと考えています。学校選択制は、子供が自分の個性に合った学校で学ぶことができるというメリットがある一方、一定規模の児童生徒集団が確保されていることを重要とする学校規模適正化の観点等から、課題もあると考えていますので、他自治体の事例を参考に調査研究を進めます。

(学校教育課)

雨水排水設備などは個人の土地などに設置されており、個人等の財産に関わることとなりますので、市が維持管理などをすることは非常に難しいものと考えており、私道の所有者又は使用者の方々で実施していただくものと考えています。

舗装整備について、本市では、私道のうち、位置指定を受けている道路について、舗装整備に係る費用の一部を補助する制度があります。補助金の交付だけではなく、水がたまりやすいような構造で施工することがないように、技術的支援を今後も行っていきたいと思っています。

【その他の質問】  
塵芥収集所と資源物回収等、本市の廃棄物について



行き止まり道路

安心・安全な街づくりについて  
栗田 弘志(公明党)

**問** 近年、自宅に人がいるにもかかわらず、金品目的で押し入る侵入強盗殺傷事件が全国的に発生しています。このような状況を受け、個人住宅の防犯対策を促し、被害を未然に防止することを目的とした「住宅等防犯対策設置補助金制度」が各自治体で始まっています。防犯カメラだけではなく、その他の防犯設備に対しても助成する制度です。本庄市としての考えを伺います。

**答** 家庭用防犯対策への補助事業について、秩父市に確認したところ、議員ご指摘のとおり令和5年度から補助事業を実施しており、防犯カメラ設置費用の3分の1を上限とし、今年度は最大5万円に拡張したとのことでした。また、来年度においては、別途、センサーライトやガラス用防犯フィルムに対しての補助事業も行う予定であるとのことでした。また、深谷市は、

**問** 文部科学省では「インクルーシブ教育と合理的配慮について」堀口 伊代子(市議団未来)

**答** 本市では、インクルーシブ教育の考え方に

基づき、特別支援学級に在籍する児童生徒は、個に合った教育を特別支援学級で受けるとともに、同じ場で共に学ぶ交流授業を通常の学級で受けています。交流授業は、特別支援学級の児童生徒だけでなく特別支援学校の児童生徒とも行っています。障害のある児童生徒に対する教育の合理的配慮について、文部科学省



【その他の質問】  
台南市との友好交流協定について

が提示する、教員等の確保、施設設備の整備、個別教育支援計画及び個別の指導計画に対応した柔軟な教育課程の編成や教材等の配慮の3つの観点に依り、子どもたちがが学校で学びやすくするための工夫を行い、実施後は定期的に検証し、改善に努めています。こうした取組は、市内全で行われており、教育委員会としては、研修を通してさらなる資質向上に努めます。今後、誰一人取り残されない共生社会の実現に向け、インクルーシブ教育の考え方に基づいた特別支援教育と合理的配慮を継続して実施していきたいと考えています。

(学校教育課)

本年1月より補助事業を実施しており、防犯カメラ等の設置費用の2分の1を上限とし、最大1万円の範囲で地域通貨による補助を行っています。本市においても、個人住宅

に対する犯罪の増加については喫緊の課題であり、その対策として防犯カメラ等を設置することにより、相当程度の犯罪抑止効果が期待できるものと認識しています。一方で、議員ご指摘の闇バイトに絡むいわゆるトリックウエイ型の犯罪においては、防犯対策設備の有無にかかわらず、犯行が行われているとの報告もあるため、先進事例における実施手法及びその効果を調査研究していきます。

【その他の質問】  
住みよい街づくりについて



(危機管理課)

統合前の児童も教育環境を  
選択できる学校選択制の導入を  
内田 英亮(市議団大地)

**問** 議会は地域と丁寧な議論すべしと令和元年に提言したが、小学校統廃合に関し地域との話し合いが行われていない。卒業前に小学校統合となる児童に最初から大規模校を選択できるようにすべき。一学年で一学級の単学級には課題があると市は言うが、ならば今、その状況にある児童にも学校を選ばせるべきではないのか。移住希望者が本庄に求める本庄の魅力や強みを分析したか。

**答** 昨年12月に開催した説明会で、統合前に統合場所となる小学校へ入学させてほしいというご意見がありました。統合前に統合場所となる小学校への入学を許可した場合は、様々な課題があります。具体的には、小規模校の児童数がさらに減り、学校行事の運営に支障を生じることなどです。教育委員会としては、統合まで小規模校に通う児童が安心して学校生活

住宅リフォーム助成制度の  
早期実現を  
柿沼 綾子(無党派)

**問** 個人の資産形成に必要なので作れないと、住宅リフォーム助成制度の創設をと言いつつ続けているが、まだ実現できない。多くの市町で20年以上前から実施されているこの制度は、介護保険の改修や省エネ改修ではなく、住宅の水まわりや部屋の改修、塀や花壇などの改修で、10万円程度の補助が一般的に行われているものである。持続可能なまちづくりに資するものとして実現を求めます。

**答** 住宅リフォーム補助制度に期待される効果は、居住環境の改善や定住促進、また施工業者を市内に限ること、市内中小企業の振興を図れることと考えます。一方、市では、住宅の耐震、障害のある方や高齢者の居住環境改善、省エネルギー導入など、事業毎に補助金制度を設け一定の効果を上げています。加えて、市内の事業者が施工した場合に補助額を加算



【その他の質問】  
加齢性難聴の対策について

(商工観光課)

### 本庄市の防犯対策の 取り組みについて

林 富司(市議団未来)

**問** 安全で安心な生活は誰もが望む所です。そうした中で子供と高齢者が被害を受け易いと言われています。そこで本市の犯罪等の現状について、まず児童生徒の登下校時の安全対策の取り組みについて、また高齢者の関わる犯罪事例について伺います。以前早稲田の杜地域の安全対策として交番の設置を要望しましたがその後の経緯について、最後に犯罪抑止についての考えをお聞きます。

**答** 登下校時の児童生徒の安全対策として、小学1年生全員に防犯ブザーと防犯用の笛を配布し、定期的な使用方法を指導してまいります。中学校においても、危険を感じたら、その場から逃げる、近くの人に助けを求め、防犯ブザーを使用する、大声を出す等の対応について、繰り返し指導をします。高齢者が受けた犯罪被害については、令和5年中の埼玉

県での被害状況ですが、住宅等への侵入窃盗やひったくりなどの窃盗、詐欺が主となっております。特殊詐欺は、令和6年中に本市で6件発生しています。

交番の設置については、当該地域の交通事故発生状況や犯罪発生等を鑑みますと、直ちに交番設置に向けた合意形成を進めるのは難しいと考えています。引き続き当該地域の状況を注視し、地域の皆様のご意見を伺いつつ、警察機関と協議を進めてまいります。防犯対策は、近年の犯罪傾向を考えると、市民の皆様への注意喚起が大変重要であると認識しています。現在実施している各施策を継続しつつ適宜改善・改良を行い更なる効果が得られるよう努めます。(危機管理課・学校教育課)



### 本庄駅北口周辺整備基本計画における中山道について

谷田 裕之(市議団大地)

との連携や教職員の兼業兼職を含めた公募も検討してまいります。また、部活動と地域クラブの連絡調整等のコーディネートも配置する予定です。今後、4月以降に各中学校で種目決定、その後、指導者の募集、保護者への説明会を実施し、9月以降に準備が整い次第開始する予定です。本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会では、顧問の代表も参加し、実証事業の進め方や対象部活等について様々な議論がありました。本市では、先進地を参考としながら、まずは実証事業の成果と課題を整理し、本市の目指すべき活動の姿を構築していきたいと考えています。(学校教育課)

### 【その他の質問】 市の広報について



**問** 本庄駅北口周辺整備基本計画において中山道が計画の本筋から抜けていないのではないかと感じています。本庄地域が発展した原動力は街道最大の宿場であり、この中山道を主として整備計画を考えなければ「まちなか」の再興はありえないのではないかと考えています。無電柱化が行われれば良しと考えているのでしょうか。それとも運動しての整備方針を想定しているのでしょうか。

**答** 本庄駅北口周辺整備基本計画では、中山道を、市内外を結ぶ骨格道路の一つと捉え、その走行の円滑性や快適性を重視し、沿道には、歩車分離による安全性や利便性を確保した空間形成を図る道路として位置付けています。整備イメージでは、歩行者と車両の安全性の両立とともに、周辺の景観と調和した空間形成を目指すこととしています。また、「埼玉版スー

### 高齢者福祉施策としての はにぼん号利用促進について

矢野間 規(市議団きせき)

**問** 3月からリニューアルされ、予約が取りやすくなり、利便性が向上されたはにぼん号ですが、高齢者福祉施策として、多くの方に利用していただくために、また免許返納の後押しにするためにも、回数券の配布はできないか。また、高齢者向けの講座、イベントの参加時にはにぼんデマンドを利用した方に、交通費を支給することで、より利用促進につながるかと考えるが市の見解を伺う。

**答** デマンドバスを利用する方への回数券等の配布については、市としても高齢者が増えていく中、高齢者の移動については、今後の課題であると認識しています。このような課題に対応していくため、デマンドバスの活用についても一つの方法であると考えています。今回デマンドバスがリニューアルしたことにより、高齢者福祉施策の観点から、利用促進を

図っていくためには、実際に利用し、利便性を感じていただくことはもちろんですが、まずは、どういふ方がどのように利用しているかなどを把握し、どのような支援が必要か考えていきます。

また、イベント参加時のデマンドバスの利用者へ交通費を支給することについては、デマンドバスの利用促進は、高齢者の移動支援の一つの方策として捉えています。デマンドバスの利用も含めた地域の高齢者の移動についてのニーズを把握するとともに、免許返納者の課題などを整理し、今後は議員のご提案も参考にさせていただきながら、調査研究してまいります。(高齢者福祉課)



はにぼん号

### 【その他の質問】 小学校の夏休みについて

**問** 私は令和4年6月から、この質問を続けてきた。本市の部活動の現状と今後県・国に実証事業を申請することのだが、スケジュール・内容を伺う。「コベカツ」の神戸市や埼玉県内各先進地域のどのやり方をされるのか、又は本庄市モデルにするのか伺う。又去年の定例会で今後本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会を設置し検討すると答弁があったが何を協議したのか伺う。

**答** 市内公立中学校では、60の部活動に1111名、1、2年生の約89%が所属し、本庄市立中学校部活動方針に則り活動しています。実証事業は、地域クラブ活動の整備を試行的に実施するもので、令和7年度に各校1部活動を対象とし、休日の学校部活動を地域クラブ活動として実施する予定です。指導者は、各クラブ2名配置の予定で、スポーツ協会等

### 中学校部活動の 地域移行について

門倉 道雄(市議団未来)

**問** 本市の部活動の現状と今後県・国に実証事業を申請することのだが、スケジュール・内容を伺う。「コベカツ」の神戸市や埼玉県内各先進地域のどのやり方をされるのか、又は本庄市モデルにするのか伺う。又去年の定例会で今後本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会を設置し検討すると答弁があったが何を協議したのか伺う。

**答** 市内公立中学校では、60の部活動に1111名、1、2年生の約89%が所属し、本庄市立中学校部活動方針に則り活動しています。実証事業は、地域クラブ活動の整備を試行的に実施するもので、令和7年度に各校1部活動を対象とし、休日の学校部活動を地域クラブ活動として実施する予定です。指導者は、各クラブ2名配置の予定で、スポーツ協会等

### おもな案件②

◆本庄市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部改正に伴い、非常勤消防団員に支払う退職報償金の区分に「勤続年数35年以上」を追加などする条例改正です。

◆本庄市要介護高齢者介護手当当支給条例の一部を改正する条例

要介護高齢者介護手当について要介護高齢者の年齢要件を60歳以上の者から65歳以上の者とするなど支給要件を改正するための条例改正です。

◆本庄市敬老祝金給付条例の一部を改正する条例

敬老祝金について、受給資格、敬老祝金の額及び満77歳となる方への給付を廃止するなど給付年齢の見直し等を行うための条例改正です。

◆本庄市地域包括支援センターにおける包括的支援



◆本庄市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

ひとり親家庭等の医療費の支給について、埼玉県内の保険医療機関等での現物給付等を実施するための条例改正です。



◆**本庄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例**

国が定める特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、保育内容支援及び代替保育に係る連携協力に関する見直し等をするための条例改正です。

◆**市道路線の廃止について**

道路法第10条の規定に基づき、開発行為に伴い路線を短縮し再認定するため廃止するものなど計10件について、市道路線を廃止するものです。

◆**市道路線の認定について**

道路法第8条の規定に基づき、開発行為に伴い認定するものなど計6件について、市道路線を認定するものです。

◆**財産の取得について**

本庄市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるものです。

【種類・数量】  
CD-I型消防ポンプ自動車  
1台

【取得金額】  
2664万9920円

【契約の相手方】  
埼玉消防機械株式会社



CD-I型消防ポンプ自動車

◆**本庄市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて**

地方公務員法第9条の2第2項の規定により、次の方を本庄市公平委員会委員として選任したいため、議会の同意を求めるものです。  
増井 武文 氏

◆**本庄市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて**

加し、総額を339億2180万5000円とするものです。

◆**請願の審査結果**

3月定例会では、請願1件を慎重審査しました。審査結果は次のとおりです。  
〔採択〕

▽「安全・安心の医療・介護の実現のため人員増と処遇改善を求める」意見書を国に提出することを求める請願

【提出者】  
埼玉県医療介護労働組合連合会  
小林朱美 氏

◆**議員提出議案**

3月定例会では、議員から3議案が提出され、次の2議案を原案のとおり可決しました。なお、可決した意見書は関係機関へ提出しました。

◆**安全・安心の医療・介護の実現のため人員増と処遇改善を求める意見書(要約)**

新型コロナウイルス感染症の拡大により、入院が必要にもかかわらず入院できない「医療崩壊」や、介護を受けたたく

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、次の方を本庄市教育委員会教育長として任命したいため、議会の同意を求めるものです。  
下野戸 陽子 氏

◆**人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて**

人権擁護委員法第6条第3項の規定により、次の方を人権擁護委員の候補者として推薦したいため、議会の意見を求めるものです。  
加川 京子 氏

◆**専決処分の承認を求めることについて**

令和6年度における個人住民税均等割非課税世帯に対する物価高騰対策給付金の支給を可能な限り速やかに実施する必要があったことから、給付金やシステム改修等に要する経費を追加するため、歳入歳出それぞれ2億4199万9000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ351億726万5000円とする令和6年度本庄市一般会計補正予算(第7号)を専決処分し

たことについての報告及びその承認を求めるものです。

◆**令和6年度本庄市一般会計補正予算(第8号)**

国の補正予算による国庫補助金を活用して児玉小学校、共和小学校、本庄西中学校の体育館照明のLED化や各事業の実績見込みによる減額など、総計で歳入歳出それぞれ4億4076万円を減額し、総額を347億3650万5000円とするものです。



共和小学校体育館

◆**令和6年度本庄市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)**

事業の実績見込みにより不足が生じることから追加するなど、総計で歳入歳出それぞれ112万3000円を減額し、総額を81億4303万3

000円とするものです。

◆**令和6年度本庄市介護保険特別会計補正予算(第4号)**

事業の実績見込みにより不足が生じることから追加するなど、歳入歳出それぞれ5515万円を追加し、総額を67億9554万6000円とするものです。

◆**令和6年度本庄市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)**

繰入金額の確定による減額など、歳入歳出それぞれ557万4000円を減額し、総額を11億3761万1000円とするものです。

◆**令和7年度本庄市一般会計・特別会計・公営企業会計予算**

自治体DXの取組として来庁者の窓口手続を支援するスマート窓口の導入や、本庄産イチゴ「あまりん」の魅力を生かす市内外に発信し、ブランド力や生産力、所得の安定・向上に向けた事業者の支援など、一般会計の予算額は、337億3000万円の前年比5.5%の増です。

用等に関する法律の一部改正に伴う所要の改正です。

◆**本庄市議会議員研修会を開催しました**

令和7年2月18日に、国際遠隔病院機構の唐川伸幸氏を講師として迎え、「新たな差し迫った脅威のメカニズムと国民保護」をテーマに、本庄市議会議員研修会を開催しました。

◆**第三区議長会議員研修会を開催しました**

令和7年1月23日に、大正大学教授の江藤俊昭氏を講師として迎え、「議員のなり手不足について」をテーマに、第三区議長会に所属する本庄市、熊谷市、秩父市、深谷市の合同で第三区議長会議員研修会を開催しました。



研修会の様子

◆**令和7年度本庄市一般会計補正予算(第1号)**

物価高騰の影響を受けた生活者や事業者への支援として、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、本庄市水道事業の水道料金の基本料金を令和7年9月検針分から4か月間免除するため、水道事業会計へ補助金を交付するなど、歳入歳出それぞれ2億1880万5000円を追



本庄産のあまりん

